

分野横断型医工学研究プラットフォーム (BASIC) 講演会

経済産業省が考える、今後の医療機器・ヘルスケア産業政策について
～Covid19の中で考える人生100年時代の課題～

2020年

9月16日 **水** 18:00-19:00

オンラインセミナー (Zoomにて開催)

講師

富原 早夏氏

経済産業省 商務・サービスグループ
ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室付

とみはら さやか

2006年経済産業省入省。外国人材政策、産業再生、自然エネルギー、アジアとの経済協力・経済連携交渉等の政策を担当した後、2015年にヘルスケア産業課総括補佐、2018年7月より医療・福祉機器産業室長。東京大学大学院薬学系研究科 (MPharm)、米国ノースウェスタン大学ケロッグ校卒 (MBA)。



日本は高齢化率が28%を超える「超高齢社会」となっている中で、今後日本の医療・介護システムは、さらなる需要拡大と労働力制約に直面することになります。社会としても、誰もが人生を幸せに生きることが出来る『生涯現役社会』の実現が目指されています。こうした近年の医療機器産業を取り巻く環境の変化は著しく、従来の「治療型」「診断型」に加え、「予防・進行抑制型」、「介護」などの新たな領域で機器やサービスのイノベーションが起きており、ロボット技術やAI、IoT等の異分野からの技術革新や異業種、ベンチャーなどの新規プレイヤーの参入も期待されております。また、コロナ禍で、こうした変革が急務となっています。今回、政府が打ち出している医療機器・ヘルスケア分野において、その中心人物として重要な役割を担っている経済産業省 医療・福祉機器産業室の富原早夏氏に、これまでのキャリアや、日本が抱える課題、そこで求められる医療・産業・社会のあり方、医療者と企業との一層の連携への期待についてお話していただきます。

申し込み

以下[1]か[2]のいずれかの方法で、9月11日(金)までにお申し込みください

1. 申し込みフォーム: <https://forms.gle/4hgUhSnKk2cWXifX8>

2. メールに以下を明記の上『9/16 富原早夏氏講演会参加希望』と題して

asu@crieto.hosp.tohoku.ac.jp へご連絡をお願いいたします。TEL:022-274-3501

1) 氏名・フリガナ 2) 所属・役職 3) メールアドレス (前日に参加URLをお送りします)

主催: 東北大学病院臨床研究推進センターバイオデザイン部門

共催: 未来型医療創造卓越大学院プログラム

未来医療人材育成寄附部門 / ベッドサイドソリューションプログラム

令和2年度地域中核企業ローカルイノベーション支援事業
東北地域の医工連携環境の整備と企業課題の解決事業 支援

